埋文桜ニュース

発行日：二〇一六年四月二日
発行者：公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

はじめに

今年も桜が咲く季節になり、新たな年度が始まります。本年度も愛知県埋蔵文化財センターでは、様々な事業を行ってまいります。

まず発掘調査ですが、設楽町で行なわれる設楽ダム建設事業に伴う発掘調査をはじめ、下図のような調査を予定しております。これら発掘調査の成果や現地説明会の開催情報は、ホームページなどで紹介してまいりますのでご覧下さい。

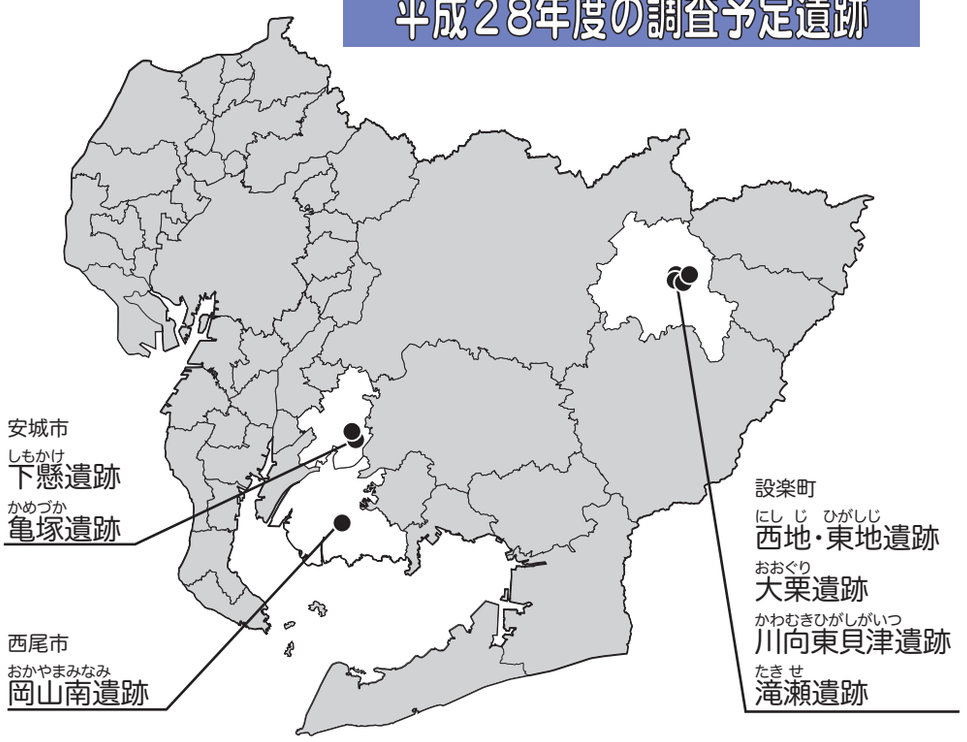
そして本年度も多くの普及・公開事業を計画しております。まず春には、弥富市の愛知県埋蔵文化財調査センターで**【春の埋蔵文化財展「やとみ新発見展！」】**を開催します。平成27年度の調査で見つかった遺物をどこよりも早く展示し、「やとみ春まつり」に合わせて「考古学縁日」も行います。

夏には、愛知県陶磁美術館において**【夏の埋蔵文化財展「弥生への旅　朝日遺跡」】**を開催します。本センターが中心となって調査してきた東海地方最大の弥生時代のムラ：朝日遺跡を紹介するとともに、重要文化財に指定された遺物を多数展示します。またシンポジウムや講座、ワークショップなども予定しております。

秋には、センターの作業を皆様にご理解して頂くための**【バックヤードツアーと考古学体験】**や、家族で楽しく参加できる**【家族で歴史を体験発掘！】**を行います。また好評をいただきました**【連続歴史講座】**も開催します。本年度のテーマは「祈りと祭りの考古学」です。考古資料から古代の人々のマツリの姿を考えます。さらに愛知県内の考古学に関連する人たちが集まり、最新情報を交換するイベント**【考古学セミナー「あいちの考古学2016」】**を名古屋市博物館で開催します。

当センターは本年度も積極的な情報発信に努めますので、皆様のご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

平成28年度の調査予定遺跡



〒498-0017
愛知県弥富市前ケ須町野方 802-24
電話：0567-67-4163
ファックス：0567-67-3054
ホームページ：http://www.maibun.com/
メールアドレス：doki@maibun.com

連続歴史講座　今年は5回開催！
祈りと祭りの考古学
各時代の祈りと祭りについて
5人の講師が解説。

2016考古学の祭典
考古学セミナー
名古屋市博物館にて開催！
2016年11月26日（土）27日（日）

平成28年度　発掘調査成果報告会
新設楽発見伝3
平成29年3月開催予定！

設楽町内の調査　縄文時代の集落の調査

▲主な調査地点

今年度の主な調査成果として、笹平遺跡では縄文時代中期から後期の集落、川向東貝津遺跡では旧石器時代～縄文時代草創期の石器と縄文時代中期から後期の集落、滝瀬遺跡では縄文時代早期～ 前期の集落などが確認されました。

▲滝瀬遺跡遠景（南より）

滝瀬（たきせ）遺跡

調査区のほぼ中央には巨礫を含む段丘礫が露出しており、その川寄りの下の場所で集石遺構群と竪穴建物跡が検出されました。集石遺構の石は被熱しており、下層に濃密な炭化物層が見られることから、炉跡と考えられます。時期は、周辺で縄文時代早期の押型文土器が出土しており、縄文時代早期から中期前半のいずれかに属すると思われます。また竪穴建物跡には、石囲炉があり、貯蔵穴と思われる土坑から縄文時代後期の土器が出土しています。

笹平（ささだいら）遺跡

遺跡は境川の東側（左岸）、川に対して西に張り出す段丘上に立地しています。昨年度は、集落（笹平遺跡）の全体の調査とになりました。このような大規模な調査事例は愛知県内では少なく、大変貴重な発掘となりました。

縄文時代の集落は、巨石「笹平岩」を挟み、地形に沿って展開していたことが確認できました。また遺跡の規模や内容から、設楽山間部の縄文時代後晩期を代表する遺跡の調査事例となった考えられます。

▲遺物出土状況（北より）

川向東貝津（かわむきひがしがいつ）遺跡

川向東貝津遺跡は豊川の支流、境川右岸の河岸段丘上に立地しています。遺構検出面での標高は、東から西に向かって緩やかに傾斜していました。上面遺構として縄文時代中期の竪穴建物跡と集石土坑、縄文時代後期の竪穴建物跡と埋甕、所属時期不明の陥し穴などを確認しました。また、下面遺構として、後期旧石器時代と縄文時代草創期の石器集中区を検出しました。

縄文時代中期の竪穴建物跡は隅丸方形を呈し、中央に石囲炉を有するものがありました。

▲石囲炉（西より）

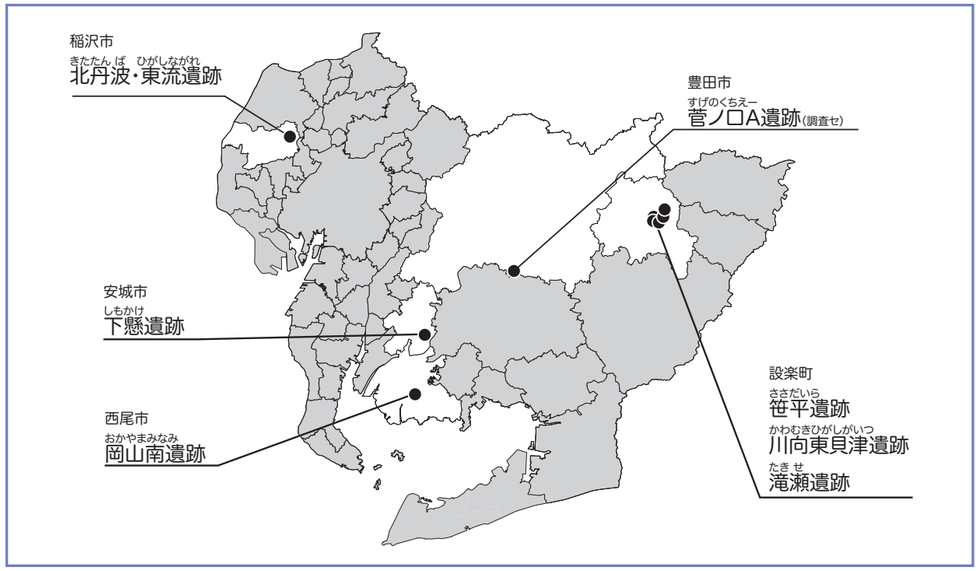
平安時代の鍛冶炉確認

菅ノ口A（すげのくちえー）遺跡（豊田市下山田代町）

今年度は、一昨年度の調査地点の北側の調査となりました。一昨年度は、縄文時代、鎌倉時代の遺物などが中心でしたが、今年度の調査では主に平安時代中頃の遺構・遺物が確認されました。なかでも小規模ながら鍛冶炉と考えられる炉跡が確認され、周辺では鍛冶によってできる鉄滓や、砥石、土師器の甕などが出土しています。平安時代中頃に周辺遺跡を含めたこの地域には、大きな開発の波がやってきたことが考えられます。

▲調査区全景　（南より）

平成27年度の主な発掘調査成果

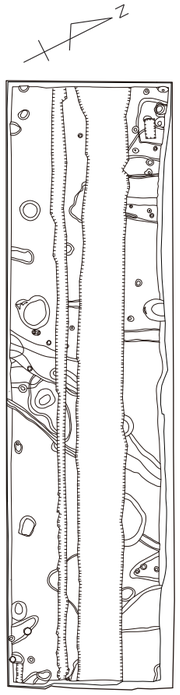


方位よりも地形！

北丹波・東流（きたたんば・ひがしながれ）遺跡（稲沢市下津丹下田町他）

県道名古屋岐阜線の街路改良工事事業にともなう事前調査として、平成二十七年五月から七月にかけて発掘調査を実施しました。幅五メートル、長さ二百メートルにわたる細長い調査区でしたので、遺跡の全容を推測するには至りませんでした。しかし、古代や古墳時代の遺構が、方位ではなく、地形に沿った形で展開することなどを確認することができました。また、溝の中からは8世紀代の須恵器がまとまって出土しました。

▲調査区　（南より）


▲下面遺構全体図
（1:500）

焼失家屋発見！

下懸（しもかけ）遺跡（安城市小川町）

中小河川改良事業に伴う事前調査として、平成二十七年十一月から十二月に調査を行いました。二百八十平米の狭い調査区でしたが、古墳時代前期の竪穴建物、古代の溝、上面から近世の水田等が確認されました。竪穴建物跡では、床面と考えられる層の直上で炭化材の広がりが見つかりおり、焼失家屋と考えられます。

▲竪穴建物跡と溝　（西より）

戦国時代と古代の遺構

岡山南（おかやまみなみ）遺跡（西尾市吉良町）

一般県道西尾幡豆線建設に伴う事前調査として、平成二十七年六月から九月にかけて、八百五十平米の調査を実施しました。上面の低地部あ分では、戦国時代以降の水田、下面は古代を中心とし、低地部分で溝・井戸、微高地側で竪穴建物跡を確認することができました。

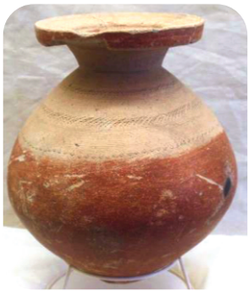
春の特別公開
国指定重要文化財

蓄える土器 黒いドキ & 赤いドキ

朝日遺跡の
選りすぐりの資料４点！

①遠賀川系壺（おんががわけいつぼ）
（弥生時代前期）

①は、遠賀川系の壺です。壺は弥生時代に特徴的な器形で、貯蔵のための容器です。遠賀川系土器は西日本に広く分布し、初期稲作文化の伝播の指標と考えられています。この土器が出土した貝殻山貝塚周辺は、朝日遺跡で最初に集落が営まれた地点で、尾張地域で弥生文化が開花した場所の一つです。



③赤彩土器（せきさいどき）・壺（つぼ）
（弥生時代後期）

③は弥生時代後期の尾張地域を特徴付ける赤彩土器です。ギリシャのクレタ島クノッソス宮殿跡出土の宮廷式になぞらえて「パレス・スタイル土器」とも呼ばれています。土器の地肌は白色で、ベンガラによる赤彩と独特なコントラストをみせています。赤彩のない口縁部内面と体部上半には、櫛状具による直線文・斜行線文・列点文などを組み合わせた文様帯が描かれています。

②は、頸が細くすぼまり、体部の下位が大きく膨らむのが特徴です。口縁から体部にかけて櫛描の文様があります。土器の表面は黒く仕上げられ、ベンガラが塗布されています。液体を貯蔵したのでしょうか？口縁部が打ち欠かれていることから、お墓などに供えられたものと思われます。

②細頸壺（ほそくびつぼ）（弥生時代中期）

④沈線文系土器（ちんせんもんけいどき）（弥生時代中期）

④は頸部がすぼまり、口縁が大きく開く壺です。口縁部と体部には縄文文化の伝統を引く深い沈線文が刻まれ、表面は黒く焼き上げられています。この様な土器は、岩倉市大地遺跡出土の資料（県指定文化財）を標式とし、「大地式土器」と呼ばれてきました。尾張地域を中心に飛騨、北陸地方にも認められ、西の弥生文化と東日本の在来文化との接触によって生じた折衷的な形態の土器です。

平成 28 年度　イベント案内

どなたでも楽しんでいただけるイベント　　大人を対象としたイベント

4	2（土）｜17（日）	どなたでも	春の埋蔵文化財『やとみ新発見展”（しんはっけんでん）！ 2016』 & 春の特別公開　予約不要・参加費無料 昨年度の発掘調査成果について、県内で一番早く展示解説を行います。また、国指定の重要文化財である朝日遺跡の遺物を特別公開します！ ４月２日（土）・３日（日）はキネクトゲームや火起しマスター、輪投げなどイベントを開催！
5 6 7 8	2（土）｜9（土）｜20（土）｜28（日）	どなたでも	夏の埋蔵文化財『弥生への旅　朝日遺跡　-2000 年前のキャラヴァンサライ -』 & あいち考古楽市 期間：平成 28 年７月２日（土）から８月 28 日（日）　会場：愛知県陶磁美術館 朝日遺跡の重要文化財を中心に、朝日遺跡を紹介する埋蔵文化財展です。 ＊＊●講演会１・シンポジウム１　講演会：「朝日遺跡の盛衰と弥生時代（仮題）」設楽博巳　+シンポジウム　７月９日（土）13:30-16:00　予約不要・参加費無料 ＊＊●講演会２・シンポジウム２　講演会：「狗奴国創世と古墳時代（仮題）」赤塚次郎　+シンポジウム ８月 20 日（土）13:30-16:00　予約不要・参加費無料 ＊●連続歴史講座１「朝日遺跡」　全６回　7/16（土）・7/23（土）・7/30（土）・8/6（土）・8/13（土）・8/27（土）13:30-15:00　予約不要・参加費無料 ＊●連続歴史講座２「担当者が語る発掘現場 30 年」　全２回　7/24（日）・8/7（日）13:30-15:00　予約不要・参加費無料 ＊●展示解説　全３回　7/10（日）・7/18（月・祝）・8/21（日）13:30-15:00　予約不要・参加費無料 ＊●ワークショップ　全６回　7/2（土）・7/3（日）・7/17（日）・7/31（日）・8/14（日）・8/28（日）10:00-12:00　13:30-15:00　予約不要・参加費無料
9	24（土）	どなたでも	センター公開事業『バックヤードツアーと考古学体験』予約不要・参加費無料 ☆バックヤードツアーや考古学の体験イベントを通じて、当センターの事業を紹介します。　○開催予定：９月から 11 月（毎月１回　平日開催）　＊＊詳しくは HP にておしらせします。
10	上旬 8（土）｜22（土）	大人向き	連続歴史講座『祈りと祭りの考古学』全５回　予約不要・参加費無料 ☆設楽地域などの最新の発掘調査成果を踏まえ、祈りと祭りに関するの考古学的な情報について、５人の講師が解説。 会場：埋蔵文化財調査センター２階研修室　時間：午後 13 時～15 時 ① ９月 24 日（土）：「縄文のいのり」　川添和暁　②10 月　８日（土）：「弥生の農耕祭祀」　永井宏幸 ③10 月 22 日（土）：「古墳のまつり」　早野浩二　④11 月　５日（土）：「古代のまじない」　池本正明 ⑤11 月 19 日（土）：「戦国の呪術」　鈴木正貴
11	5（土） 19（土） 26（土） 27（日）	どなたでも	秋の特別公開　予約不要・参加費無料　☆年に２回、弥富市にある愛知県埋蔵文化財調査センター２階にて、国指定重要文化財を展示します。 ○開催時期：11 月１日（火）から 11 月 11 日（金）　○開館時間：9:00-16:00
		どなたでも	家族の絆作り事業『家族で歴史を体験発掘！』要予約　受付開始予定８月下旬 ☆遺跡の発掘体験を通じて、家族の絆を深めましょう！　○開催時期：10 月上旬　○体験遺跡：西三河地域を予定　== 詳細が決定次第 HP にておしらせします。
12 1	上旬	大人向き	2016 年度『考古学セミナーあいちの考古学 2016』予約不要・参加費無料 愛知県内と近隣の情報を手に入れることができるビックイベント！　日時：11 月 26 日（土）・27 日（日） 会場：名古屋市博物館　地階講堂（発表）・展示説明室（ポスターセッション）　== 詳細が決定次第 HP にておしらせします。
2	18（土）	大人向き	東三河環状線関連発掘調査成果報告会　予約不要・参加費無料　☆豊橋市の東三河環状自動車道建設に伴って実施された遺跡の発掘調査についての報告会です。 会場：豊橋市民センター（カリオンビル）　開催日：平成 29 年２月 18 日（土）　時間：未定 合わせて遺物やパネルの展示を行います。　展示：平成 29 年１月初旬から３月下旬　会場：豊橋市文化財センター　== 詳細が決定次第 HP にておしらせします。
3	上旬	大人向き	設楽ダム関連発掘調査成果報告会『新設楽発見伝３』予約不要・参加費無料 ☆平成 28 年度の設楽地区の発掘調査成果の報告会です。　== 詳細が決定次第 HP にておしらせします。

発行：公益財団法人　愛知県教育・スポーツ振興財団　愛知県埋蔵文化財センター